

地域防災力の向上

若年層の防災への関心を高めるため、各種イベントや防災授業等の機会を捉え、普及啓発を行った。イベントでは、避難所の資機材の組み立て方法や日頃の備え、防災授業では避難所運営ゲームなどを展開した。

R7 実施結果

↓ 避難所資機材の展示



5/11 ALLとしま立教WAKUWAKU防災フェス

↓ クロスロードゲームの実施



↓ 避難所居住スペースの設営体験 ↓ 避難所おかたづけゲームの実施



11/23 わんぱくまつり



↓ 公民連携によるブース出展



10/13 としまDOKI☆多DOKI防災フェス

↓ 歩いて作る防災マップづくり



↓ 災害用トイレの説明



防災授業の実施

↓ 避難所運営ゲームの実施



緊急一時退避場所の運用

取組の実施内容

台風などに伴う荒川氾濫の危険性が高まった場合の基本的な避難行動である「分散避難」や「高台避難」が間に合わない場合に備え、緊急的に命をつなぐために退避できる「緊急一時退避場所」の運用を令和7年度より開始した。

MFLP・LOGIFRONT東京板橋の想定

- 退避スペース: 2～6階の車路 計4,881m²
- 収容想定人数: 約1,000人

開設期間

「避難指示(区が発令)」を発令したタイミングで緊急一時退避場所を開設し、水位が低下する3日間を目途に運用を行う。

また、水位低下までの3日間については、本施設に整備をした災害時配送ステーションに備蓄をしている水や食料を提供する。



緊急一時退避場所案内板

地域別防災マップの作成

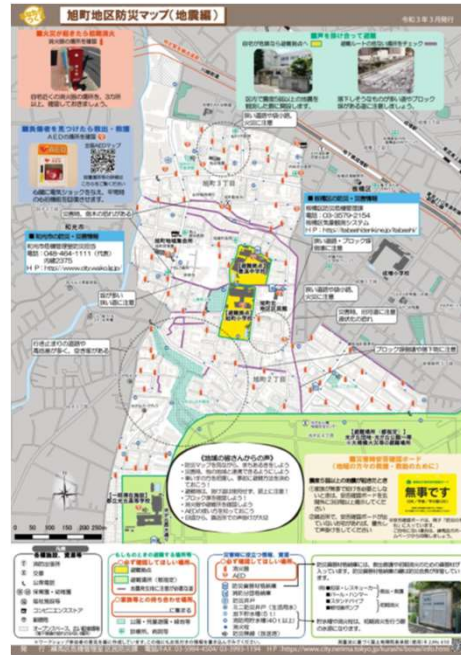
- まち歩きやワークショップを実施するなど、地域住民との協働でその地域特有のリスクや防災資源を記載した、地域別防災マップを作成。
- マップ作成後は、対象地域に全戸配布。また、マップを活用した訓練を実施。
- 水害リスクの高い地区を対象としており、令和6年度末までに13地区で作成完了予定。令和7年度末までに14地区作成する予定。

地域別防災マップ

表(水害・土砂災害編)



裏(地震編)



地域別防災マップを活用した訓練の実施

「地域別防災マップ」作成後は、消防、警察、気象庁と連携し、水災害のリスクを正しく認識し、自らの命を守る行動について地域住民が学ぶ避難訓練を実施している。地域住民が主体的に訓練実施を継続できるよう、区が働きかけながら支援していく。



ワークショップの様子



戸別訪問・避難の呼びかけ訓練実施状況

【訓練の成果・課題】

地域によってはすべての避難ルートに危険が伴う場合が想定される。

台風最接近時でなく事前の避難が必要なことや、各避難ルートのリスクについて情報を共有することが重要であるとの認識を参加者の間で共有した。